

# 地域経済産業の動向 (2020年10月)

本資料では、原則として、経済産業局の管轄区域による地域区分を採用しています。下記地域区分によらない場合は備考にその旨を明記しています。

地域名 都道府県名

北海道 北海道

東北 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡

東海 岐阜、愛知、三重

北陸 富山、石川、福井

近畿 福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国 鳥取、島根、岡山、広島、山口

四国 徳島、香川、愛媛、高知

九州 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

沖縄 沖縄

※福井は北陸、近畿の両地域に含まれています。

# 【総括表】

地域	【10月】 生産(鉱工業) (季節調整・前月比)	【10月】 小売業6業態販売額 (前年同月比)	【10月】 住宅着工件数 (前年同月比)	【2020年7-9月期】 設備投資額 (前年同期比)	【10月】 公共工事額 (前年同月比)	【10月】 有効求人倍率 (前月差・ポイント)	【10月】 輸出額 (前年同月比)
全国	↑ 4.0%	↑ 4.5%	↓ -8.3%	↓ -10.6%	↓ -0.4%	↑ 0.01	↓ -0.2%
北海道	↑ 7.1%	↑ 1.8%	↑ 3.0%	↓ -2.0%	↓ -20.5%	↑ 0.03	↓ -18.5%
東北	↑ 6.4%	↑ 4.7%	↓ -13.7%	↓ -25.8%	↑ 43.1%	↑ 0.02	↓ -12.8%
関東	↑ 4.0%	↑ 4.4%	↓ -10.4%	↓ -12.2%	↑ 11.2%	↑ 0.01	↓ -0.6%
東海	↑ 5.0%	↑※ 7.1%	↓ -6.8%	↑ 6.9%	↓ -9.4%	↑ 0.01	↑ 2.7%
北陸	↑ 2.4%	↑ 7.4%	↓ -21.1%	↑ 5.9%	↓ -4.1%	↑ 0.03	↓ -15.1%
近畿	↑ 1.7%	↑ 1.6%	↓ -2.9%	↓ -0.9%	↓ -15.9%	→ 0.00	↑ 2.3%
中国	↑ 1.4%	↑ 8.3%	↓ -15.8%	↓ -32.3%	↓ -17.9%	↑ 0.02	↓ -6.7%
四国	↑ 2.9%	↑ 6.7%	↑ 10.9%	↓ -10.2%	↓ -14.7%	→ 0.00	↓ -17.8%
九州	↑ 3.2%	↑※ 5.7%	↓ -5.3%	↓ -6.6%	↓ -22.8%	↑ 0.01	↑ 1.0%
沖縄			↓ -20.9%		↑ 0.4%	↑ 0.02	↓ -67.1%

※1 東海の小売業販売額は中部（岐阜、愛知、三重、富山、石川）の数値

※2 九州の小売業販売額は九州・沖縄の数値

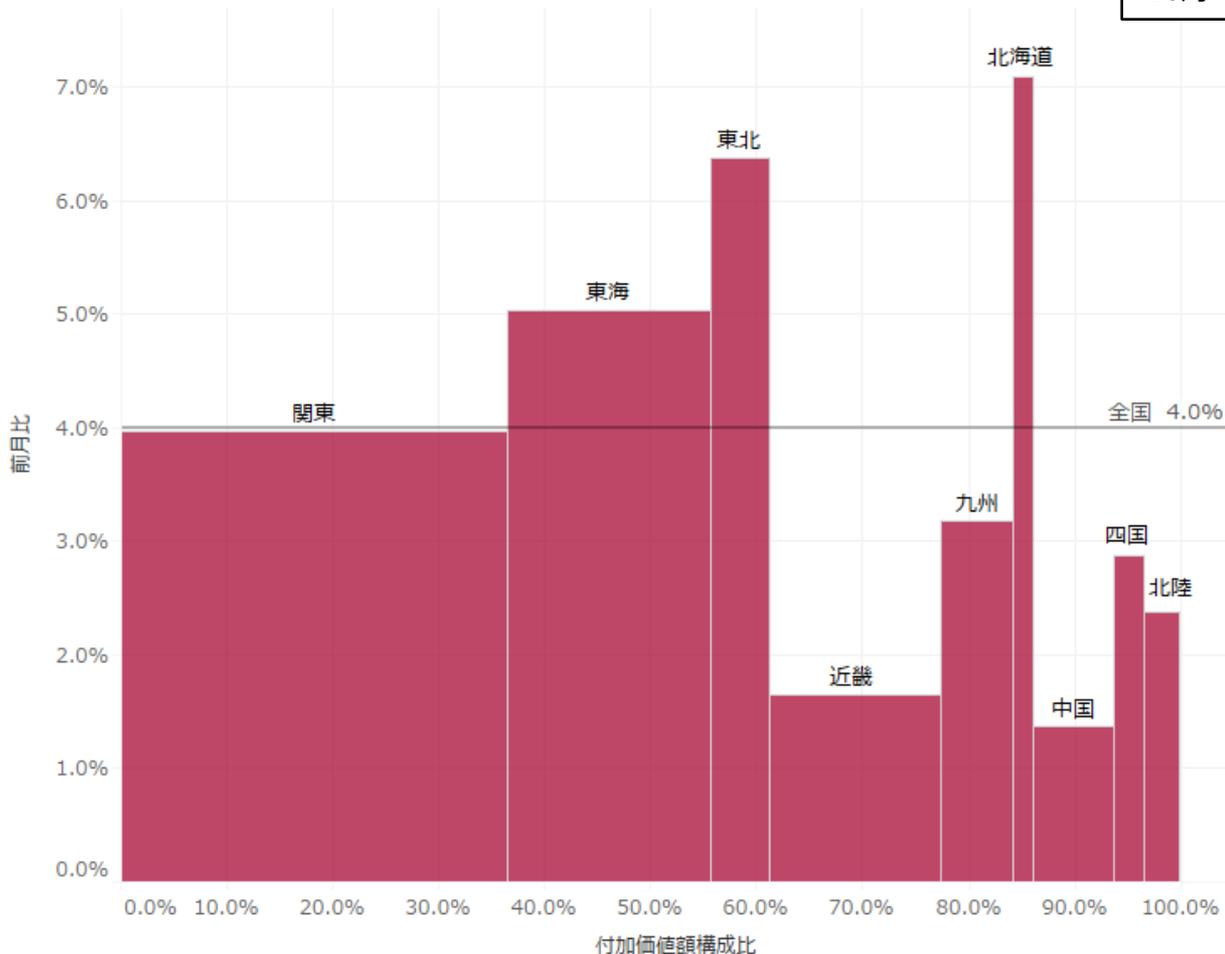
# 生産：鉱工業（季節調整値・前月比）

● すべての地域で上昇。

10月

鉱工業

地域	8月	9月	10月
全国	↑ 1.0% (88.1)	↑ 3.9% (91.5)	↑ 4.0% (95.2)
北海道	↓ -1.5% (76.9)	↑ 0.9% (77.6)	↑ 7.1% (83.1)
東北	↓ -7.0% (81.2)	↑ 10.0% (89.3)	↑ 6.4% (95.0)
関東	↓ -0.4% (84.6)	↑ 4.1% (88.1)	↑ 4.0% (91.6)
東海	↑ 5.3% (90.8)	↑ 7.2% (97.3)	↑ 5.0% (102.2)
北陸	↑ 1.9% (86.5)	↑ 1.8% (88.1)	↑ 2.4% (90.2)
近畿	↓ -0.4% (88.7)	↑ 2.4% (90.8)	↑ 1.7% (92.3)
中国	↑ 1.4% (89.6)	↑ 6.1% (95.1)	↑ 1.4% (96.4)
四国	↓ -1.9% (81.8)	↑ 2.2% (83.6)	↑ 2.9% (86.0)
九州	↑ 3.4% (90.7)	↑ 7.3% (97.3)	↑ 3.2% (100.4)
沖縄	↓ -4.5% (76.1)	↓ -6.8% (70.9)	



資料：経済産業省「鉱工業指数」平成27年＝100

全国及びすべての地域（8～9月）と全国（10月）は確報値、全国以外の地域（10月）は速報値（沖縄は10月の指標が未公表のため非表示）。※東海については、全期間修正後の確報値。

左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、変化なしは黄色、低下している場合は青色で表示。

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。各地域の付加価値額構成比は平成28年経済センサス活動調査の付加価値額より算出。伸び率寄与順。

各地域の付加価値額構成比は以下のとおり。（福井県は、指数算出にあたって、北陸、近畿の両地域に計上されているが、構成比の算出にあたっては北陸に含む）

北海道：1.8% 東北：5.6% 関東：36.5% 東海：19.1% 北陸：3.3% 近畿：16.2% 中国：7.6% 四国：2.8% 九州：6.9% 沖縄：0.2%

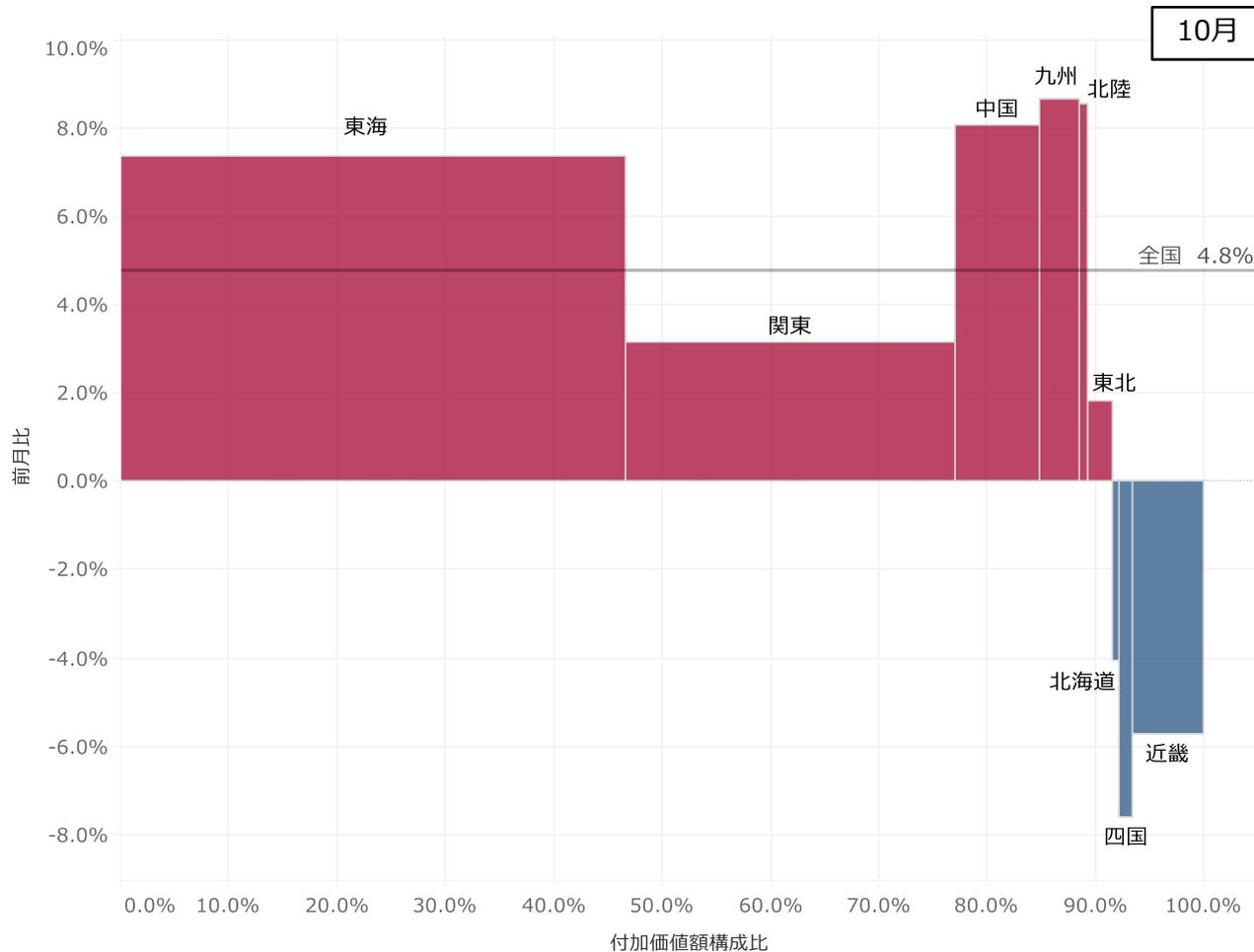
※四捨五入の影響から内訳の計と計が一致しない場合がある（以下、同様）

# 生産：輸送機械（季節調整値・前月比）

● 6地域（付加価値額構成比91.5%）で上昇、3地域（同8.5%）で低下。

輸送機械

地域	8月	9月	10月
全国	↑ 8.6% (86.8)	↑ 10.1% (95.6)	↑ 4.8% (100.2)
北海道	↓ -1.5% (87.0)	↑ 7.5% (93.5)	↓ -4.1% (89.7)
東北	↑ 1.0% (83.5)	↑ 25.3% (104.6)	↑ 1.8% (106.5)
関東	↑ 2.1% (72.6)	↑ 9.1% (79.2)	↑ 3.2% (81.7)
東海	↑ 8.0% (94.9)	↑ 11.3% (105.6)	↑ 7.4% (113.4)
北陸	↑ 5.8% (67.7)	↑ 13.9% (77.1)	↑ 8.6% (83.7)
近畿	↑ 11.3% (103.1)	↑ 10.3% (113.7)	↓ -5.7% (107.2)
中国	↑ 3.8% (79.1)	↑ 12.6% (89.1)	↑ 8.1% (96.3)
四国	↓ -10.3% (58.5)	↑ 19.1% (69.7)	↓ -7.6% (64.4)
九州	↑ 13.2% (98.7)	↑ 11.0% (109.6)	↑ 8.7% (119.1)



資料：経済産業省「鉱工業指数」平成27年=100

全国及びすべての地域（8～9月）と全国（10月）は確報値、全国以外の地域（10月）は速報値（沖縄は「輸送機械」の指数を算出していないため非表示）。左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、変化なしは黄色、低下している場合は青色で表示。

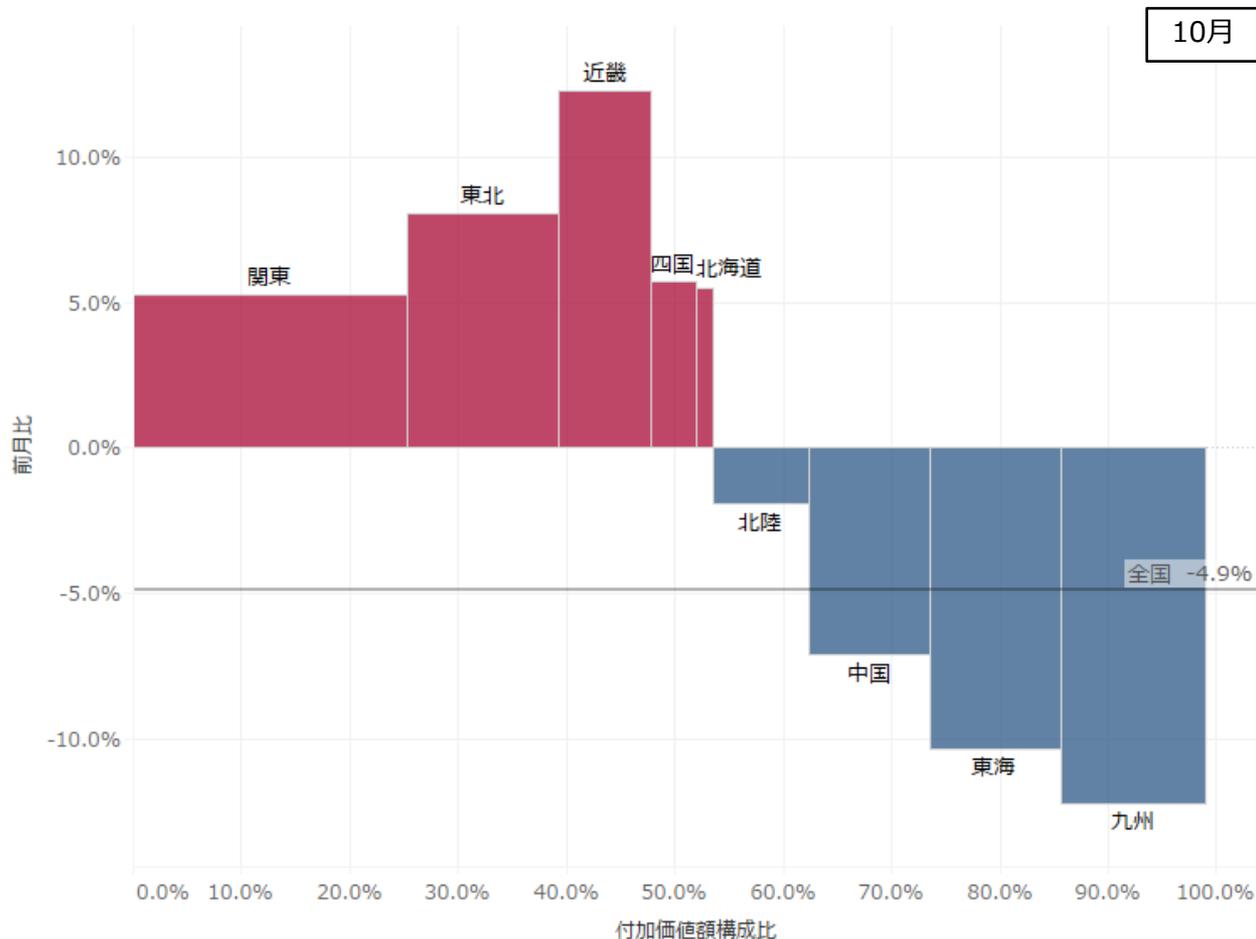
右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。各地域の付加価値額構成比は平成28年経済センサス活動調査の付加価値額より算出。伸び率寄与順。各地域の付加価値額構成比は以下のとおり。（福井県は、指数算出にあたって、北陸、近畿の両地域に計上されているが、構成比の算出にあたっては北陸に含む）北海道：0.7% 東北：2.2% 関東：30.4% 東海：46.6% 北陸：0.9% 近畿：6.6% 中国：7.8% 四国：1.2% 九州：3.6%

# 生産：電子部品・デバイス（季節調整値・前月比）

● 5地域（付加価値額構成比53.5%）で上昇、4地域（同45.5%）で低下。

電子部品・デバイス

地域	8月	9月	10月
全国	↑ 3.9% (96.3)	↑ 5.7% (101.8)	↓ -4.9% (96.8)
北海道	↓ -7.7% (60.3)	↑ 20.7% (72.8)	↑ 5.5% (76.8)
東北	↓ -2.8% (78.6)	↑ 10.1% (86.5)	↑ 8.1% (93.5)
関東	↓ -1.3% (89.0)	↑ 2.8% (91.5)	↑ 5.2% (96.3)
東海	↑ 15.9% (104.9)	↑ 2.2% (107.2)	↓ -10.4% (96.1)
北陸	↑ 7.8% (96.5)	↓ -8.2% (88.6)	↓ -1.9% (86.9)
近畿	↑ 9.2% (94.7)	↓ -5.7% (89.3)	↑ 12.3% (100.3)
中国	↑ 19.5% (133.5)	↓ -6.3% (125.1)	↓ -7.1% (116.2)
四国	↓ -3.3% (75.6)	↑ 1.9% (77.0)	↑ 5.7% (81.4)
九州	↑ 0.4% (113.6)	↑ 27.6% (145.0)	↓ -12.2% (127.3)



資料：経済産業省「鉱工業指数」平成27年=100

全国及びすべての地域（8～9月）と全国（10月）は確報値、全国以外の地域（10月）は速報値。※東海については、全期間修正後の確報値。

（北海道、四国は「電気機械工業」。沖縄は「電子部品・デバイス」の指数を算出していないため非表示）

左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、低下している場合は青色で表示。

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。各地域の付加価値額構成比は平成28年経済センサス活動調査の付加価値額より算出。伸び率寄与順。

各地域の付加価値額構成比は以下のとおり。（福井県は、指数算出にあたって、北陸、近畿の両地域に計上されているが、構成比の算出にあたっては北陸に含む）

北海道：1.6% 東北：13.9% 関東：25.3% 東海：12.0% 北陸：8.9% 近畿：8.6% 中国：11.2% 四国：4.1% 九州：13.4%

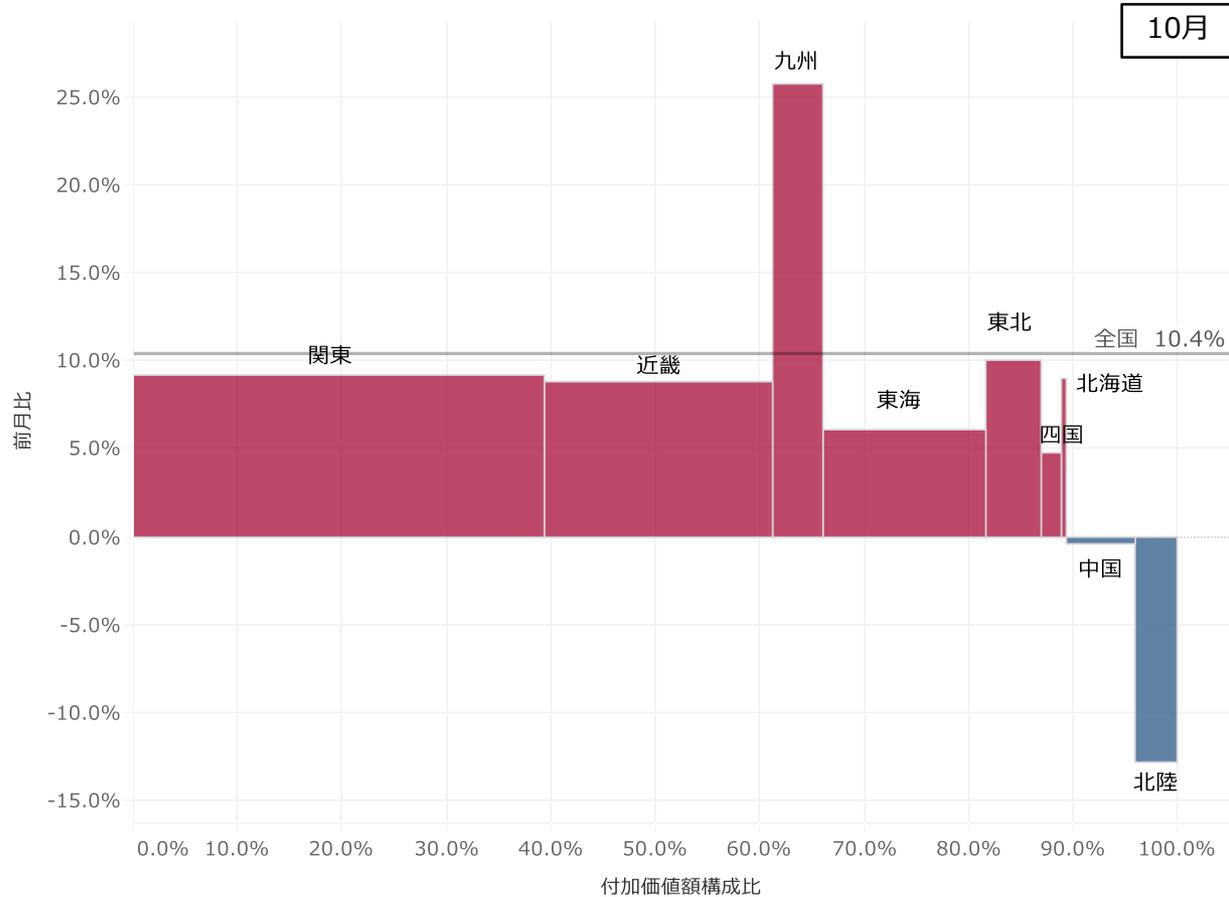
※一部の都道府県の付加価値額に秘匿処理がされていることから、全体が100%にならない。

# 生産：一般機械（季節調整値・前月比）

● 7地域（付加価値額構成比89.5%）で上昇、2地域（同10.5%）で低下。

一般機械

地域	8月	9月	10月
全国	↓ -4.0% (83.8)	↑ 1.8% (85.3)	↑ 10.4% (94.2)
北海道	↓ -1.6% (90.2)	↑ 11.6% (100.7)	↑ 9.0% (109.8)
東北	↓ -15.6% (83.8)	↑ 12.3% (94.1)	↑ 10.0% (103.5)
関東	↓ -3.9% (81.9)	↑ 5.4% (86.3)	↑ 9.2% (94.2)
東海	↑ 2.0% (78.2)	↑ 2.7% (80.3)	↑ 6.1% (85.2)
北陸	→ 0.0% (76.8)	↑ 8.3% (83.2)	↓ -12.8% (72.5)
近畿	↓ -9.6% (86.7)	↓ -0.5% (86.3)	↑ 8.8% (93.9)
中国	↓ -17.0% (82.3)	↑ 15.4% (95.0)	↓ -0.4% (94.6)
四国	↓ -1.5% (74.7)	↓ -4.1% (71.6)	↑ 4.7% (75.0)
九州	↓ -0.5% (81.7)	↓ -3.3% (79.0)	↑ 25.8% (99.4)



資料：経済産業省「鉱工業指数」平成27年=100

全国及びすべての地域（8～9月）と全国（10月）は確報値、全国以外の地域（10月）は速報値。

※北海道は「一般機械」、近畿、中国、九州は「汎用・生産用・業務用機械」、四国は「汎用・生産用機械」の指数。その他の地域は「生産用機械」「汎用機械」「業務用機械」の指数を加重平均して算出。

（沖縄は「一般機械」の指数を算出していないため非表示）

左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が上昇している場合は赤色、変化なしは黄色、低下している場合は青色で表示。

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。各地域の付加価値額構成比は平成28年経済センサス活動調査の付加価値額（汎用・生産用・業務用機械）より算出。伸び率寄与順。

各地域の付加価値額構成比は以下のとおり。（福井県は、指数算出にあたって、北陸、近畿の両地域に計上されているが、構成比の算出にあたっては北陸にむ）

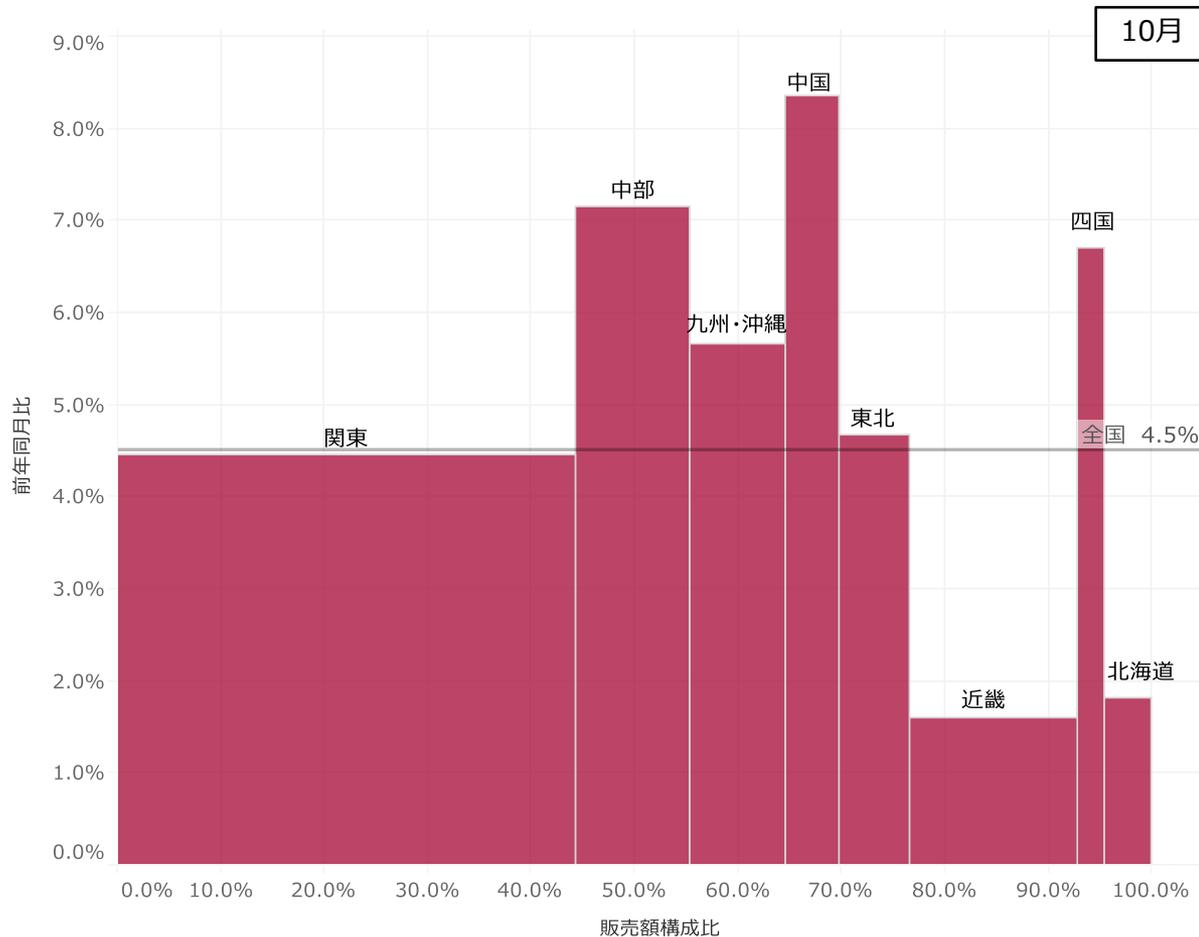
北海道：0.5% 東北：5.3% 関東：39.4% 東海：15.5% 北陸：3.9% 近畿：21.9% 中国：6.6% 四国：2.0% 九州：4.8%

# 小売業販売額：小売業6業態（前年同月比）

● すべての地域で増加。

小売業6業態

地域	8月	9月	10月
全国	↑ 1.0%	↓ -11.5%	↑ 4.5%
北海道	↓ -2.0%	↓ -8.9%	↑ 1.8%
東北	↑ 1.0%	↓ -7.3%	↑ 4.7%
関東	↑ 1.9%	↓ -11.2%	↑ 4.4%
中部	↑ 2.6%	↓ -10.8%	↑ 7.1%
北陸	↑ 2.5%	↓ -6.2%	↑ 7.4%
近畿	↓ -2.4%	↓ -16.0%	↑ 1.6%
中国	↑ 1.8%	↓ -12.1%	↑ 8.3%
四国	↑ 4.1%	↓ -10.8%	↑ 6.7%
九州・沖縄	↑ 1.3%	↓ -9.3%	↑ 5.7%



資料：経済産業省「商業動態統計調査」

小売業6業態とは、百貨店、スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターをいう。

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。（中部には、岐阜、愛知、三重、富山、石川が含まれる。北陸の富山、石川は中部の内数、福井は近畿の内数。）

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順。

各地域の販売額構成比は以下のとおり。

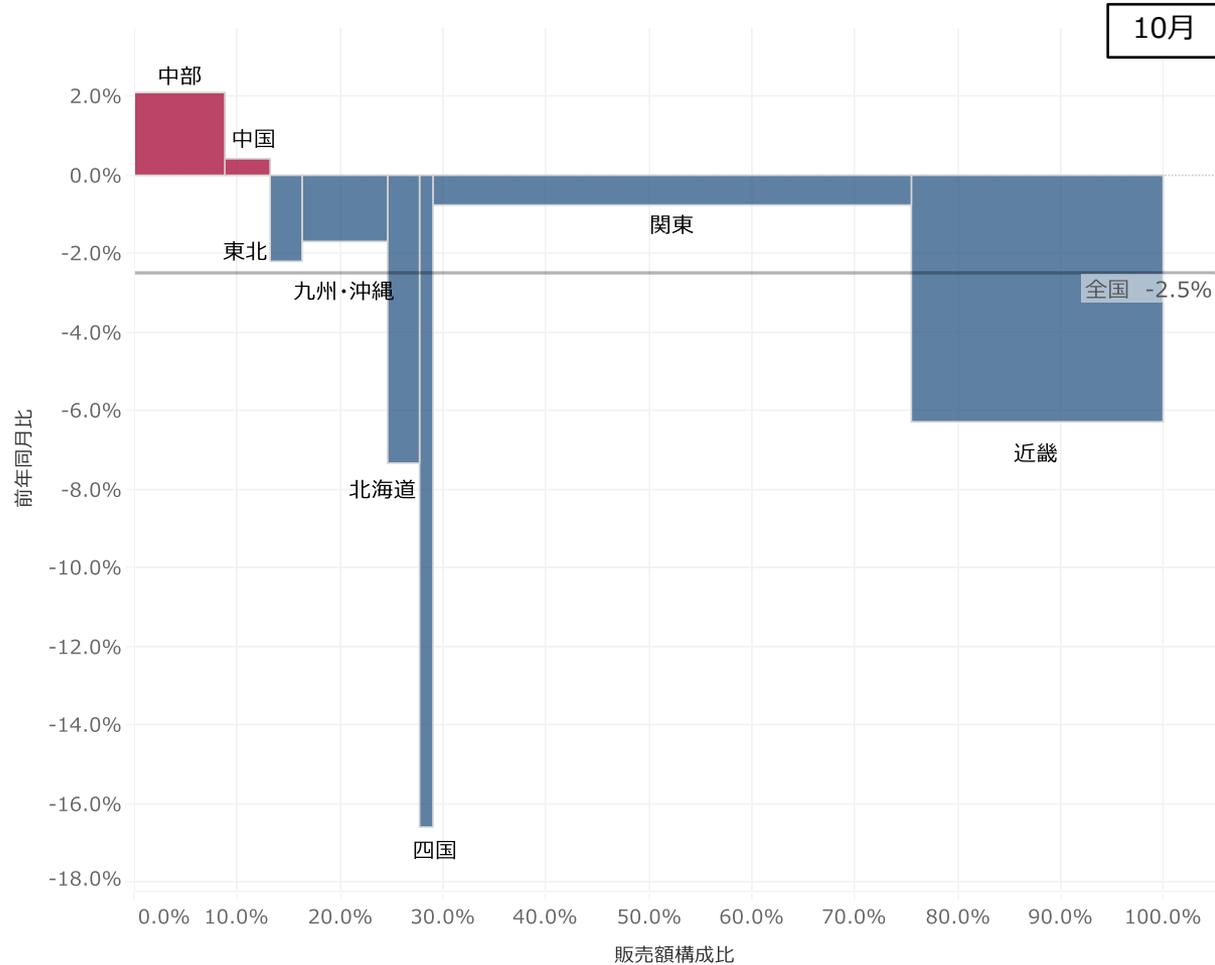
北海道：4.5% 東北：6.7% 関東：44.3% 中部：11.0% 近畿：16.3% 中国：5.3% 四国：2.7% 九州・沖縄：9.3%

# 小売業販売額：百貨店（前年同月比）

● 2地域（販売額構成比13.2%）で増加、6地域（同86.8%）で減少。

百貨店

地域	8月	9月	10月
全国	↓ -21.3%	↓ -34.0%	↓ -2.5%
北海道	↓ -23.5%	↓ -31.2%	↓ -7.4%
東北	↓ -12.7%	↓ -29.8%	↓ -2.2%
関東	↓ -22.6%	↓ -33.0%	↓ -0.8%
中部	↓ -24.7%	↓ -34.8%	↑ 2.1%
（北陸	↓ -22.5%	↓ -25.2%	↑ 13.2%
近畿	↓ -21.1%	↓ -36.2%	↓ -6.3%
中国	↓ -17.4%	↓ -31.4%	↑ 0.4%
四国	↑ 7.8%	↓ -42.3%	↓ -16.6%
九州・沖縄	↓ -20.4%	↓ -34.5%	↓ -1.7%



資料：経済産業省「商業動態統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。（中部には、岐阜、愛知、三重、富山、石川が含まれる。北陸の富山、石川は中部の内数、福井は近畿の内数。）

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順。

各地域の販売額構成比は以下のとおり。

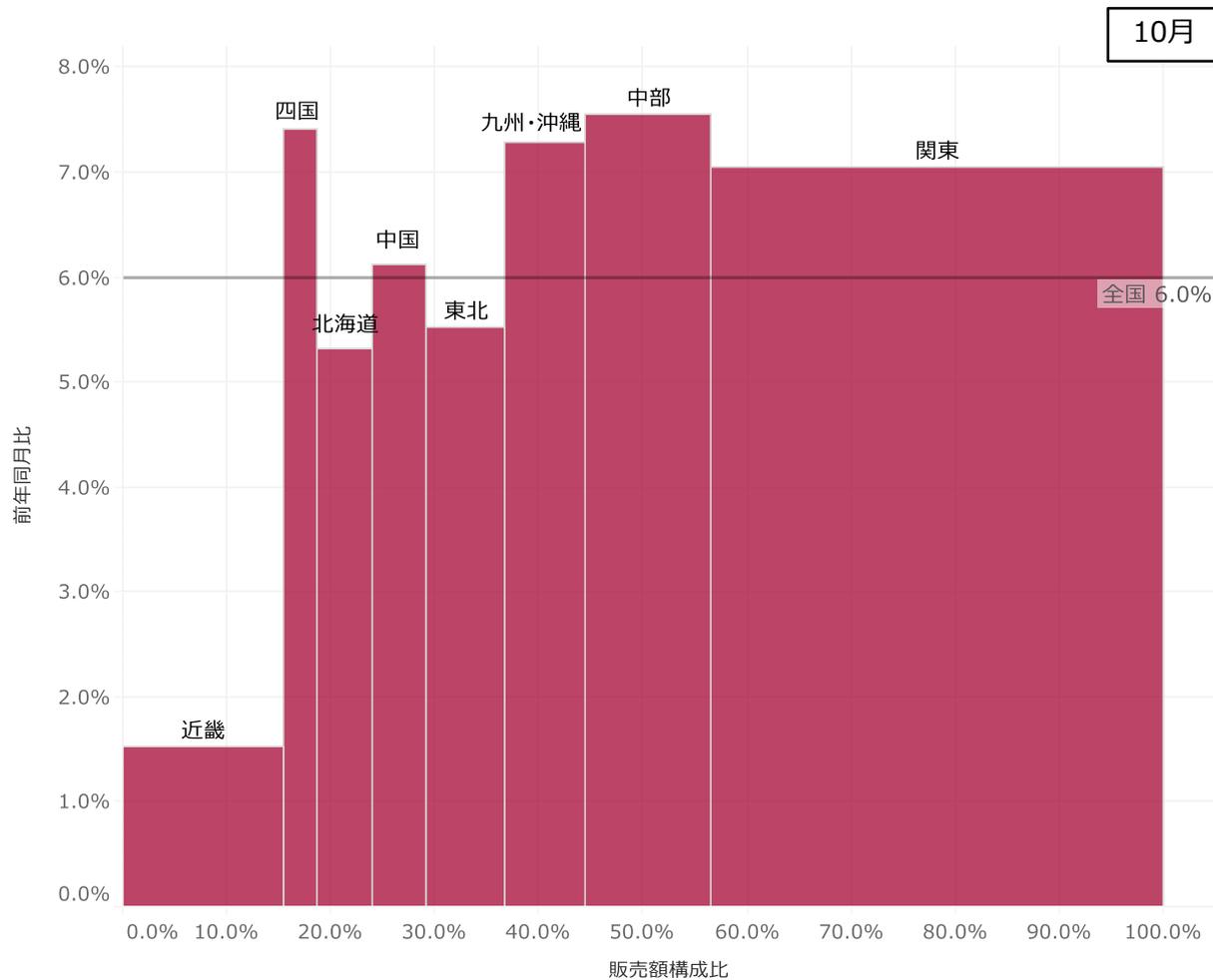
北海道：3.1% 東北：3.1% 関東：46.4% 中部：8.9% 近畿：24.5% 中国：4.3% 四国：1.4% 九州・沖縄：8.3%

# 小売業販売額：スーパー（前年同月比）

● すべての地域で増加。

スーパー

地域	8月	9月	10月
全国	↑ 5.6%	↓ -3.0%	↑ 6.0%
北海道	↑ 2.7%	↓ -3.8%	↑ 5.3%
東北	↑ 1.7%	↓ -3.7%	↑ 5.5%
関東	↑ 9.4%	↓ -1.3%	↑ 7.0%
中部	↑ 7.5%	↓ -1.7%	↑ 7.6%
（北陸）	↑ 3.1%	↑ 1.7%	↑ 8.3%
近畿	↑ 1.8%	↓ -6.1%	↑ 1.5%
中国	↑ 1.0%	↓ -4.7%	↑ 6.1%
四国	↑ 2.8%	↓ -1.1%	↑ 7.4%
九州・沖縄	↑ 1.6%	↓ -5.7%	↑ 7.3%



10月

資料：経済産業省「商業動態統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。（中部には、岐阜、愛知、三重、富山、石川が含まれる。北陸の富山、石川は中部の内数、福井は近畿の内数。）

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順。

各地域の販売額構成比は以下のとおり。

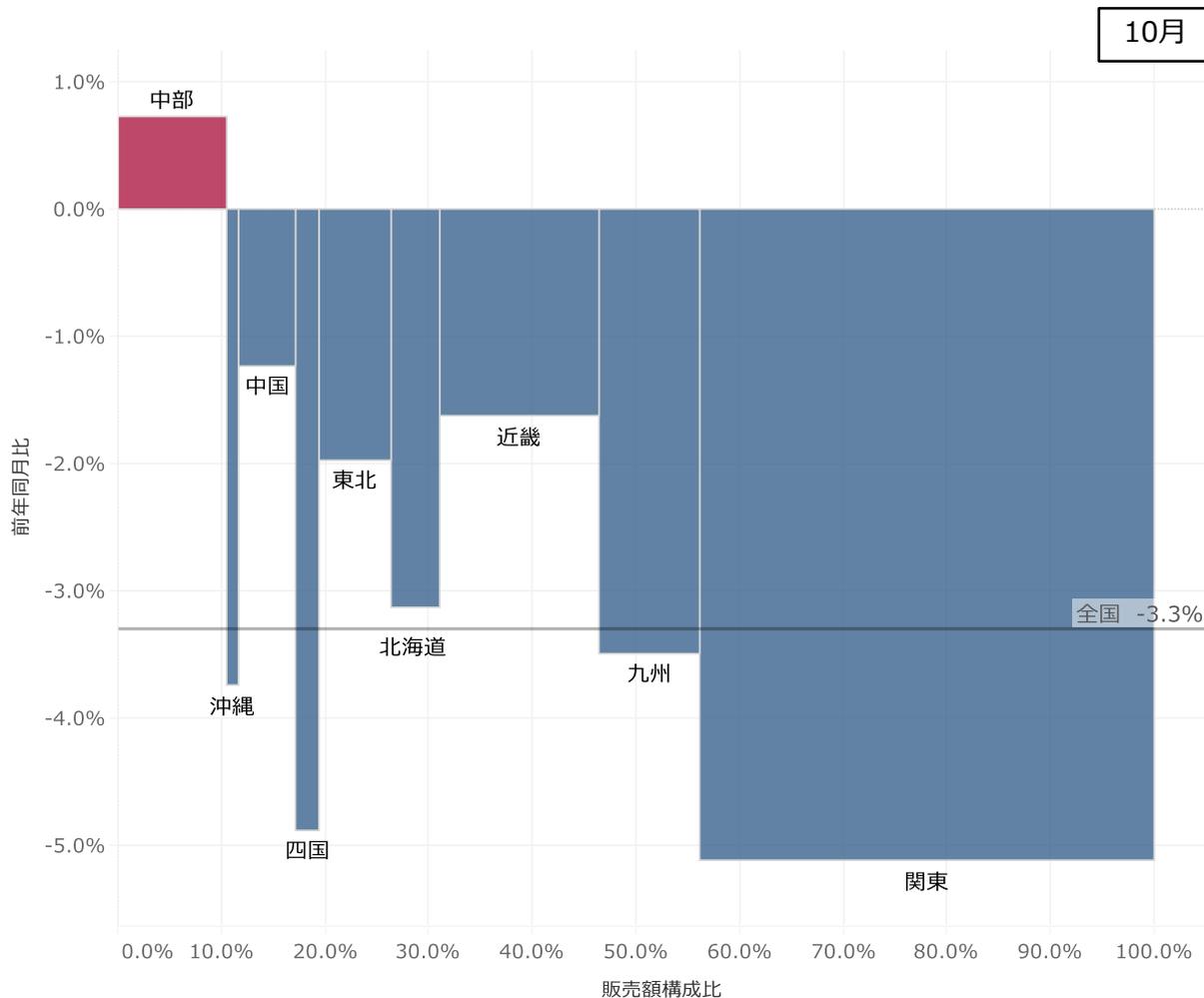
北海道：5.4% 東北：7.7% 関東：43.4% 中部：12.2% 近畿：15.4% 中国：5.0% 四国：3.2% 九州・沖縄：7.6%

# 小売業販売額：コンビニエンスストア（前年同月比）

● 1地域（販売額構成比10.5%）で増加、8地域（同89.5%）で減少。

コンビニエンスストア

地域	8月	9月	10月
全国	↓ -5.6%	↓ -3.1%	↓ -3.3%
北海道	↓ -3.8%	↑ 0.8%	↓ -3.1%
東北	↓ -5.6%	↓ -1.5%	↓ -2.0%
関東	↓ -5.2%	↓ -3.3%	↓ -5.1%
中部	↓ -6.8%	↓ -4.8%	↑ 0.7%
（北陸	↓ -10.1%	↓ -5.8%	↓ -1.9%
近畿	↓ -7.0%	↓ -4.1%	↓ -1.6%
中国	↓ -5.2%	↓ -2.4%	↓ -1.2%
四国	↓ -5.3%	↓ -2.4%	↓ -4.9%
九州	↓ -4.3%	↓ -1.7%	↓ -3.5%
沖縄	↓ -10.3%	↓ -7.3%	↓ -3.7%



資料：経済産業省「商業動態統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。（中部には、岐阜、愛知、三重、富山、石川が含まれる。北陸の富山、石川は中部の内数、福井は近畿の内数。）

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順。

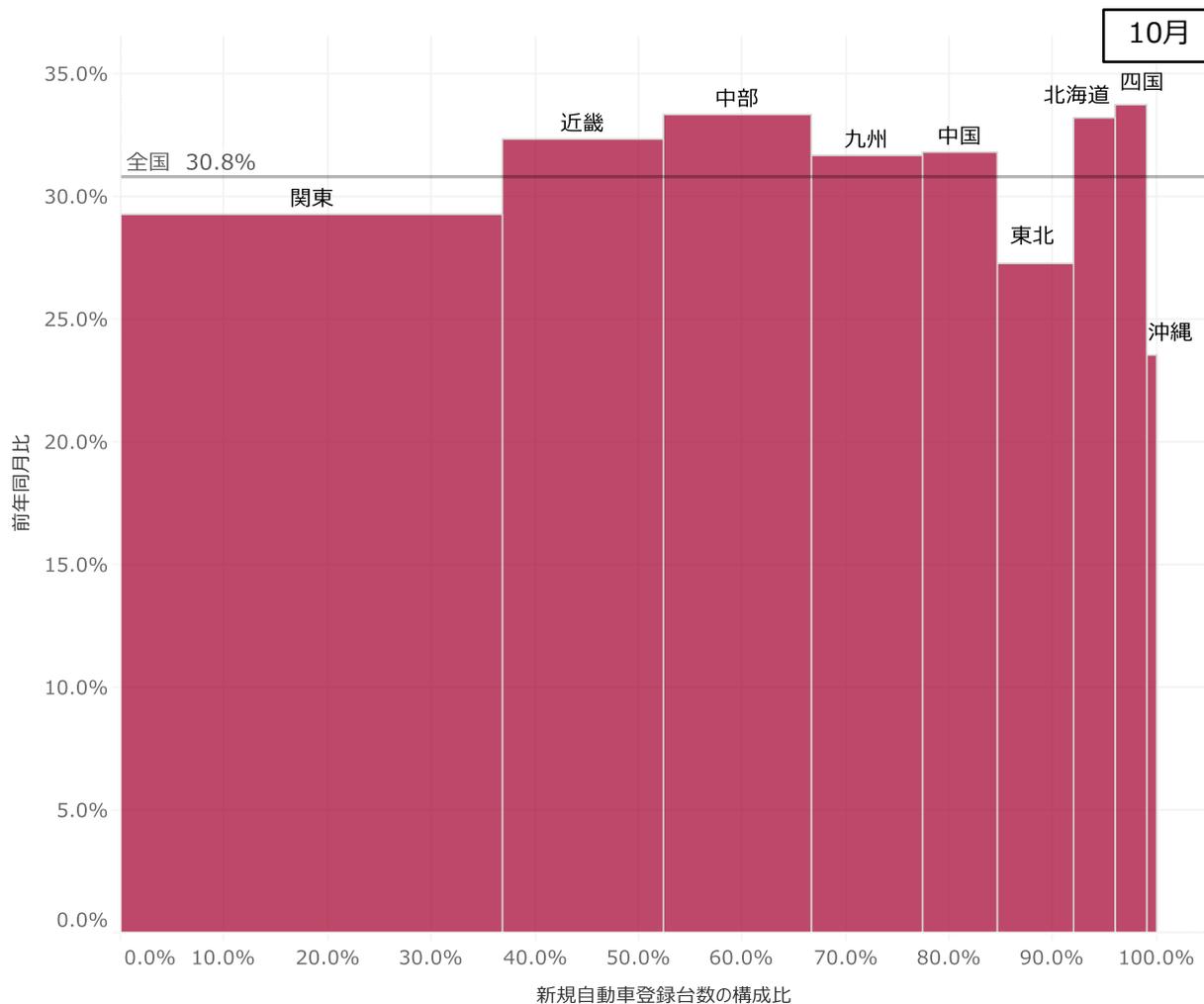
各地域の販売額構成比は以下のとおり。

北海道：4.8% 東北：6.8% 関東：43.8% 中部：10.5% 近畿：15.3% 中国：5.5% 四国：2.4% 九州：9.8% 沖縄：1.1%

# 自動車新規登録台数（前年同月比）

● すべての地域で上昇。

地域	8月	9月	10月
全国	↓ -14.8%	↓ -14.7%	↑ 30.8%
北海道	↓ -9.9%	↓ -17.0%	↑ 33.2%
東北	↓ -12.9%	↓ -13.6%	↑ 27.3%
関東	↓ -15.4%	↓ -12.6%	↑ 29.2%
中部	↓ -16.2%	↓ -15.3%	↑ 33.3%
北陸	↓ -15.8%	↓ -14.2%	↑ 31.7%
近畿	↓ -16.4%	↓ -17.5%	↑ 32.3%
中国	↓ -13.5%	↓ -14.9%	↑ 31.8%
四国	↓ -14.0%	↓ -19.2%	↑ 33.7%
九州	↓ -12.4%	↓ -16.2%	↑ 31.7%
沖縄	↓ -15.9%	↓ -10.8%	↑ 23.5%



資料：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。（中部には、岐阜、愛知、三重、富山、石川が含まれる。北陸の富山、石川は中部の内数、福井は近畿の内数。）

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいる。

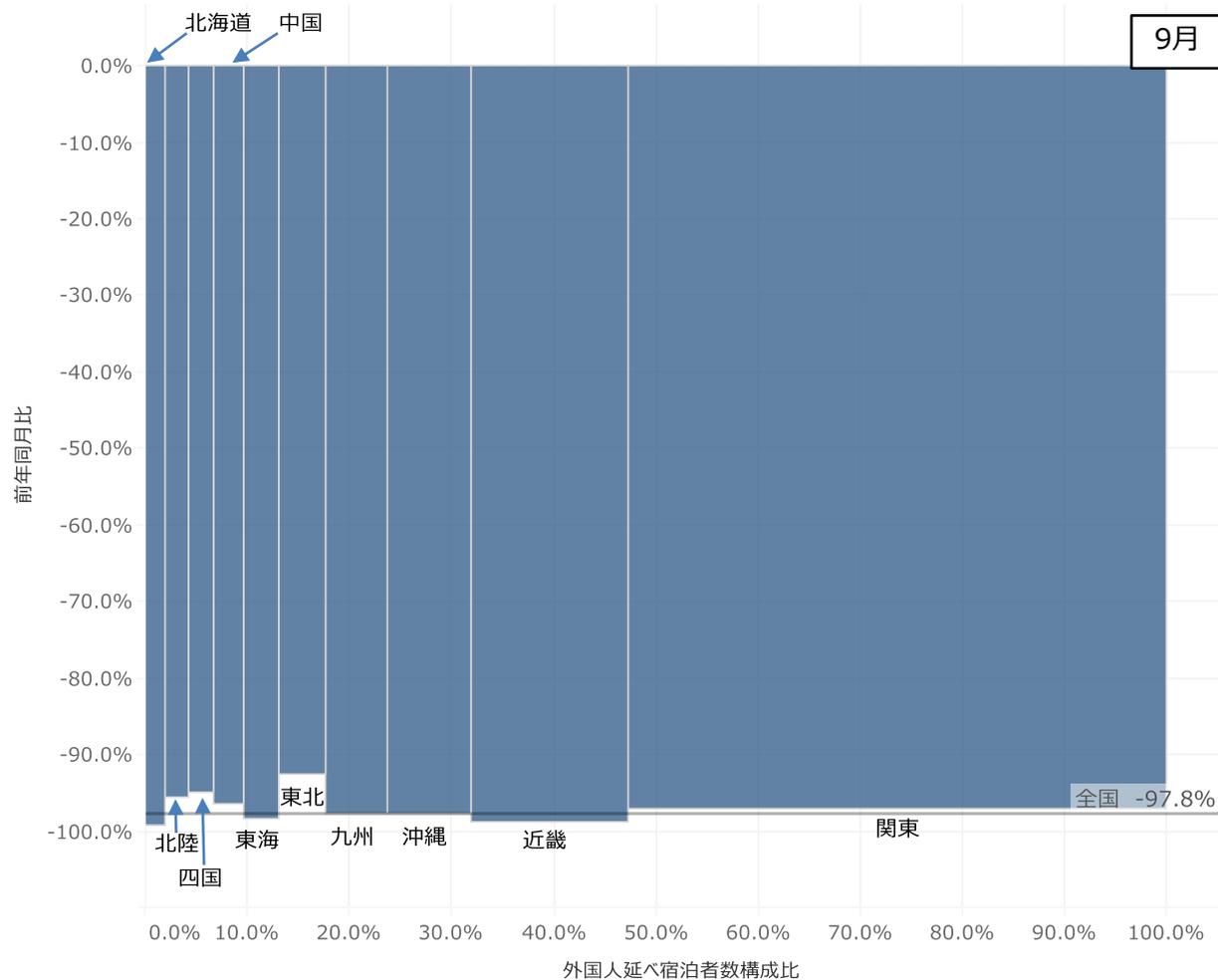
各地域の自動車新規登録台数構成比は以下のとおり。

北海道：3.9% 東北：7.4% 関東：36.9% 中部：14.2% 近畿：15.5% 中国：7.2% 四国：3.1% 九州：10.7% 沖縄：0.9%

# 外国人延べ宿泊者数（前年同月比）

● すべての地域で減少。

地域	7月	8月	9月
全国	↓ -97.9%	↓ -97.7%	↓ -97.8%
北海道	↓ -99.3%	↓ -99.2%	↓ -99.1%
東北	↓ -94.7%	↓ -94.3%	↓ -92.6%
関東	↓ -97.6%	↓ -97.0%	↓ -97.2%
東海	↓ -96.8%	↓ -96.7%	↓ -98.3%
北陸	↓ -97.3%	↓ -95.3%	↓ -95.6%
近畿	↓ -98.2%	↓ -98.9%	↓ -98.8%
中国	↓ -96.9%	↓ -95.9%	↓ -96.5%
四国	↓ -96.3%	↓ -95.3%	↓ -95.0%
九州	↓ -98.0%	↓ -98.0%	↓ -97.6%
沖縄	↓ -98.3%	↓ -97.6%	↓ -97.7%



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。

右図：9月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順。

表紙に記載した経済産業局の管轄区域と異なる地域区分を採用し、福井県を北陸地域のみで計上。

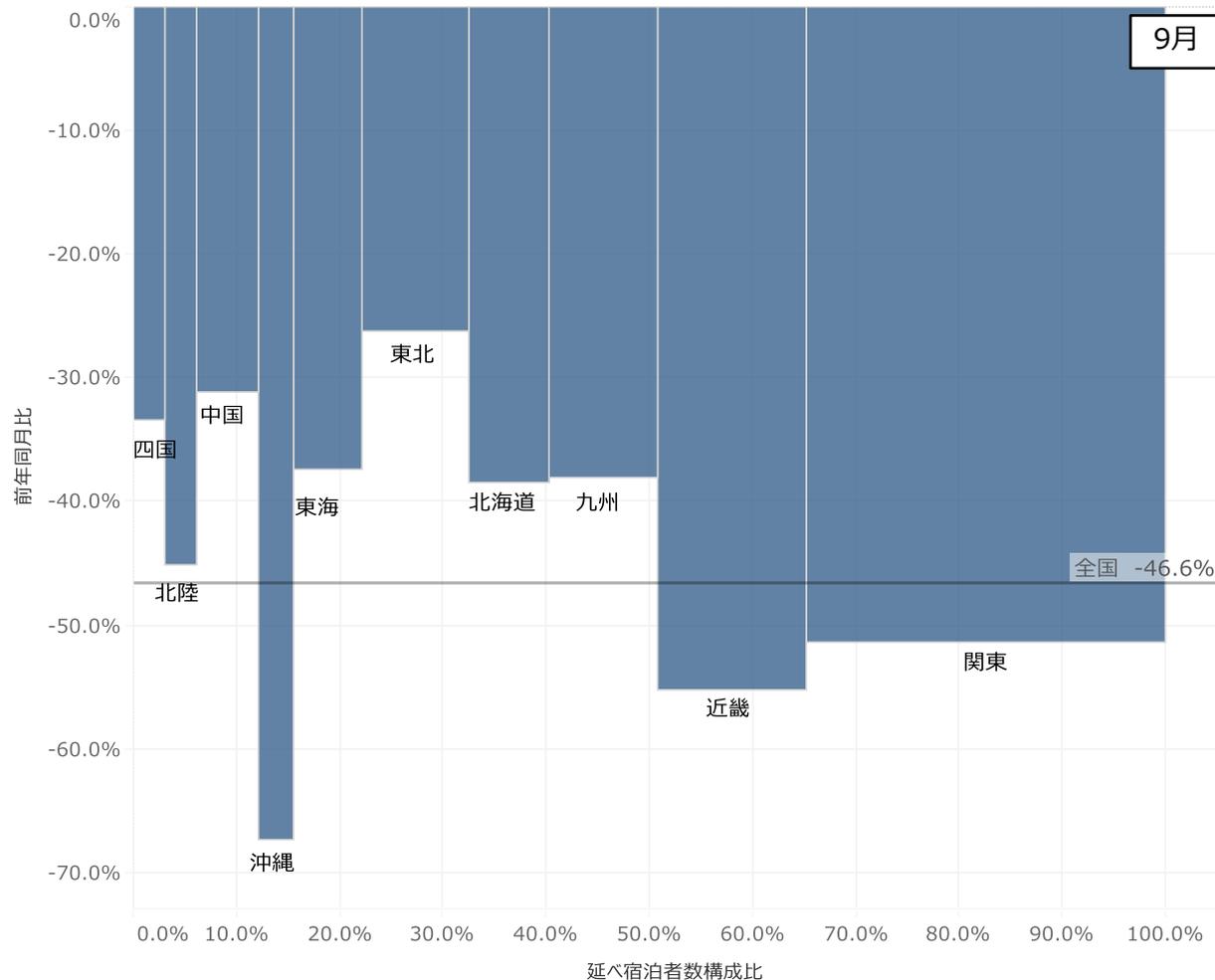
各地域の外国人延べ宿泊者数構成比は以下のとおり。

北海道：2.0% 東北：4.5% 関東：52.7% 東海：3.5% 北陸：2.3% 近畿：15.5% 中国：2.8% 四国：2.5% 九州：6.1% 沖縄：8.2%

# 延べ宿泊者数（前年同月比）

● すべての地域で減少。

地域	7月	8月	9月
全国	↓ -58.3%	↓ -58.6%	↓ -46.6%
北海道	↓ -59.4%	↓ -50.2%	↓ -38.4%
東北	↓ -37.7%	↓ -44.5%	↓ -26.3%
関東	↓ -62.5%	↓ -59.8%	↓ -51.4%
東海	↓ -52.9%	↓ -55.9%	↓ -37.4%
北陸	↓ -49.5%	↓ -57.6%	↓ -45.2%
近畿	↓ -67.9%	↓ -66.1%	↓ -55.3%
中国	↓ -41.3%	↓ -47.4%	↓ -31.1%
四国	↓ -42.1%	↓ -47.0%	↓ -33.4%
九州	↓ -50.9%	↓ -57.9%	↓ -38.1%
沖縄	↓ -66.7%	↓ -75.9%	↓ -67.3%



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。

右図：9月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順。

表紙に記載した経済産業局の管轄区域と異なる地域区分を採用し、福井県を北陸地域のみにも計上。

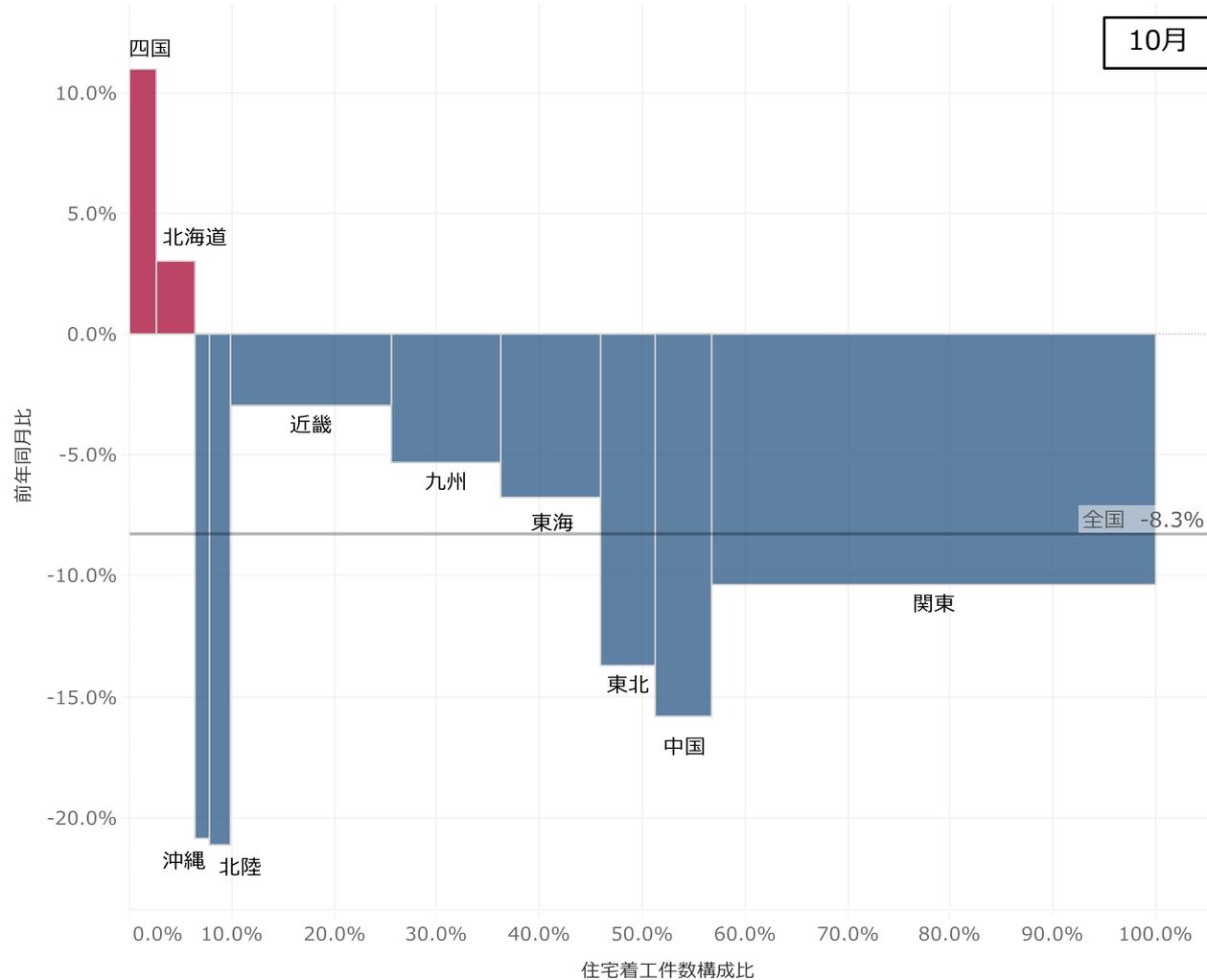
各地域の延べ宿泊者数構成比は以下のとおり。

北海道：7.7% 東北：10.4% 関東：34.7% 東海：6.6% 北陸：3.2% 近畿：14.4% 中国：5.9% 四国：3.0% 九州：10.6% 沖縄：3.4%

# 住宅着工件数（前年同月比）

● 2地域（住宅着工件数構成比6.4%）で増加、8地域（同93.6%）で減少。

地域	8月	9月	10月
全国	↓ -9.1%	↓ -9.9%	↓ -8.3%
北海道	↑ 17.9%	↑ 0.5%	↑ 3.0%
東北	↓ -15.2%	↓ -15.5%	↓ -13.7%
関東	↓ -7.3%	↓ -6.4%	↓ -10.4%
東海	↓ -16.1%	↓ -21.7%	↓ -6.8%
北陸	↓ -3.9%	↓ -12.8%	↓ -21.1%
近畿	↓ -10.3%	↓ -4.6%	↓ -2.9%
中国	↓ -7.6%	↓ -4.7%	↓ -15.8%
四国	↓ -2.3%	↓ -16.2%	↑ 10.9%
九州	↓ -14.7%	↓ -12.6%	↓ -5.3%
沖縄	↓ -41.0%	↓ -63.4%	↓ -20.9%



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順。

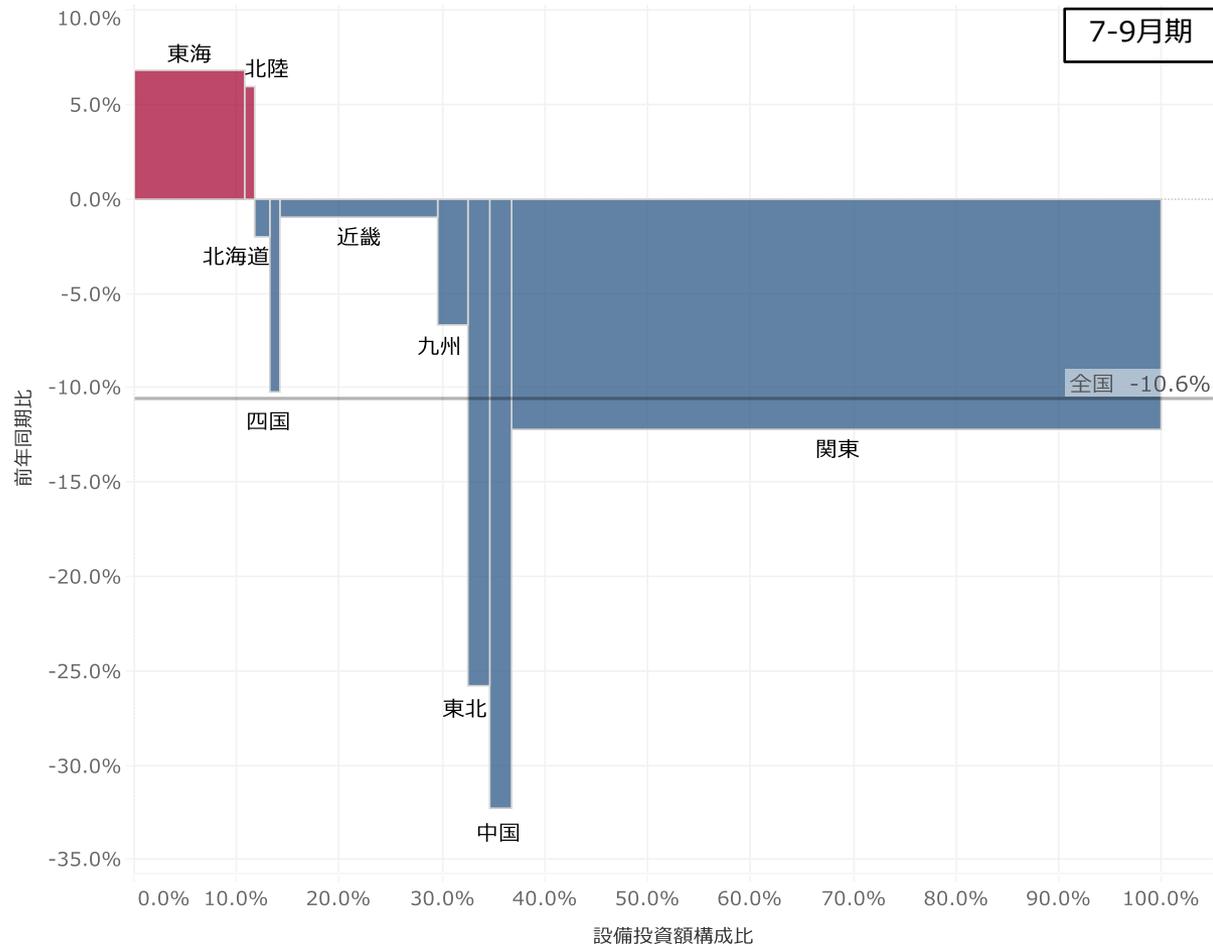
各地域の住宅着工件数構成比は以下のとおり。（福井県の住宅着工件数は北陸、近畿の両地域に計上されているが、構成比の算出にあたっては北陸に含む）

北海道：3.8% 東北：5.4% 関東：43.3% 東海：9.7% 北陸：2.0% 近畿：15.6% 中国：5.5% 四国：2.6% 九州：10.6% 沖縄：1.4%

# 設備投資額（前年同期比）

● 7-9月期は、2地域（設備投資額構成比11.7%）で増加、7地域（同88.3%）で減少。

地域	1-3月期	4-6月期	7-9月期
全国	↑ 0.1%	↓ -11.3%	↓ -10.6%
北海道	↓ -18.6%	↓ -9.6%	↓ -2.0%
東北	↑ 30.6%	↓ -28.5%	↓ -25.8%
関東	↑ 3.7%	↓ -8.0%	↓ -12.2%
東海	↓ -2.4%	↑ 9.8%	↑ 6.9%
北陸	↓ -7.5%	↓ -45.4%	↑ 5.9%
近畿	↓ -9.3%	↓ -8.3%	↓ -0.9%
中国	↑ 0.5%	↓ -26.9%	↓ -32.3%
四国	↑ 2.8%	↓ -25.2%	↓ -10.2%
九州	↑ 9.0%	↓ -39.3%	↓ -6.6%



資料：財務省「法人企業統計調査」（全国は資本金1億円以上、各地域は資本金10億円以上の法人を対象。）

左図：直近3期の状況。前年同期と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。

右図：7-9月期の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順に並んでいます。

以下の各地域は、表紙に記載した経済産業局の管轄区域と異なる地域区分を採用。

関東（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野）、東海（岐阜、静岡、愛知、三重）、北陸（富山、石川、福井）、近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）

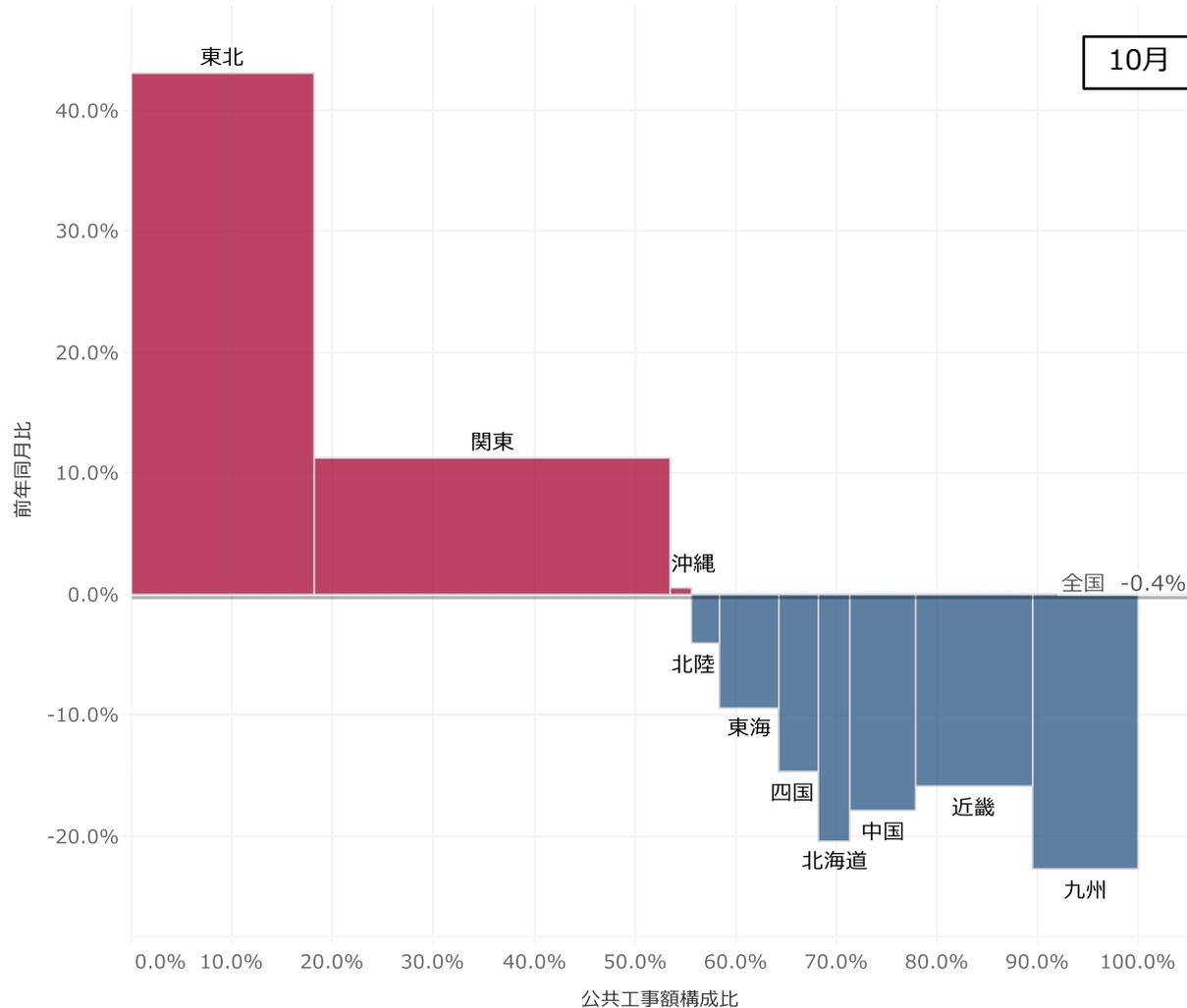
各地域の設備投資額構成比は以下のとおり。

北海道：1.5% 東北：2.2% 関東：63.3% 東海：10.8% 北陸：0.9% 近畿：15.4% 中国：2.0% 四国：0.9% 九州：3.0%

# 公共工事額（前年同月比）

● 3地域（公共工事額構成比53.5%）で増加、7地域（同46.5%）で減少。

地域	8月	9月	10月
全国	↑ 13.2%	↑ 17.1%	↓ -0.4%
北海道	↓ -1.2%	↑ 13.1%	↓ -20.5%
東北	↑ 41.7%	↑ 54.6%	↑ 43.1%
関東	↑ 21.8%	↓ -0.8%	↑ 11.2%
東海	↓ -4.2%	↑ 21.0%	↓ -9.4%
北陸	↓ -9.4%	↓ -4.6%	↓ -4.1%
近畿	↓ -1.8%	↑ 42.8%	↓ -15.9%
中国	↑ 11.9%	↑ 14.5%	↓ -17.9%
四国	↑ 6.5%	↑ 38.9%	↓ -14.7%
九州	↓ -3.2%	↑ 4.9%	↓ -22.8%
沖縄	↑ 2.3%	↓ -0.1%	↑ 0.4%



資料：北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順。

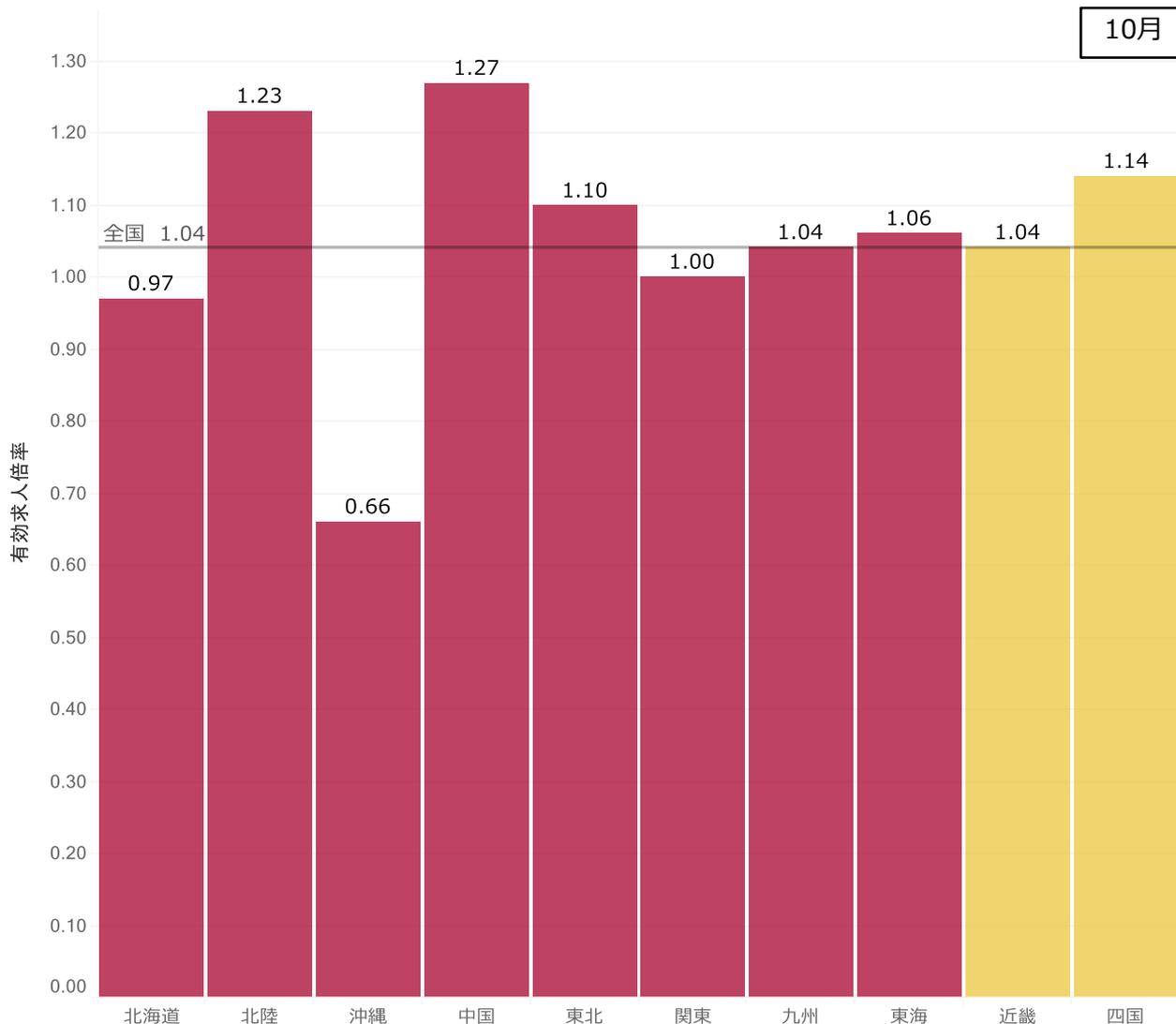
各地域の公共工事額構成比は以下のとおり。（福井県の公共工事額は北陸、近畿の両地域に計上されているが、構成比の算出にあたっては北陸に含む）

北海道：3.2% 東北：18.2% 関東：35.3% 東海：5.9% 北陸：2.8% 近畿：11.7% 中国：6.5% 四国：3.9% 九州：10.5% 沖縄：2.0%

# 有効求人倍率（前月差）

● 8地域で上昇、2地域で変化なし。

地域	8月	9月	10月
全国	↓ -0.04ポイント	↓ -0.01ポイント	↑ 0.01ポイント
北海道	↓ -0.01ポイント	↓ -0.02ポイント	↑ 0.03ポイント
東北	↓ -0.01ポイント	↓ -0.01ポイント	↑ 0.02ポイント
関東	↓ -0.04ポイント	↓ -0.01ポイント	↑ 0.01ポイント
東海	↓ -0.04ポイント	→ 0.00ポイント	↑ 0.01ポイント
北陸	↓ -0.04ポイント	→ 0.00ポイント	↑ 0.03ポイント
近畿	↓ -0.04ポイント	↓ -0.01ポイント	→ 0.00ポイント
中国	↓ -0.07ポイント	↓ -0.03ポイント	↑ 0.02ポイント
四国	↓ -0.04ポイント	↓ -0.01ポイント	→ 0.00ポイント
九州	↓ -0.02ポイント	↓ -0.02ポイント	↑ 0.01ポイント
沖縄	→ 0.00ポイント	↓ -0.03ポイント	↑ 0.02ポイント



資料：厚生労働省「職業安定業務統計」

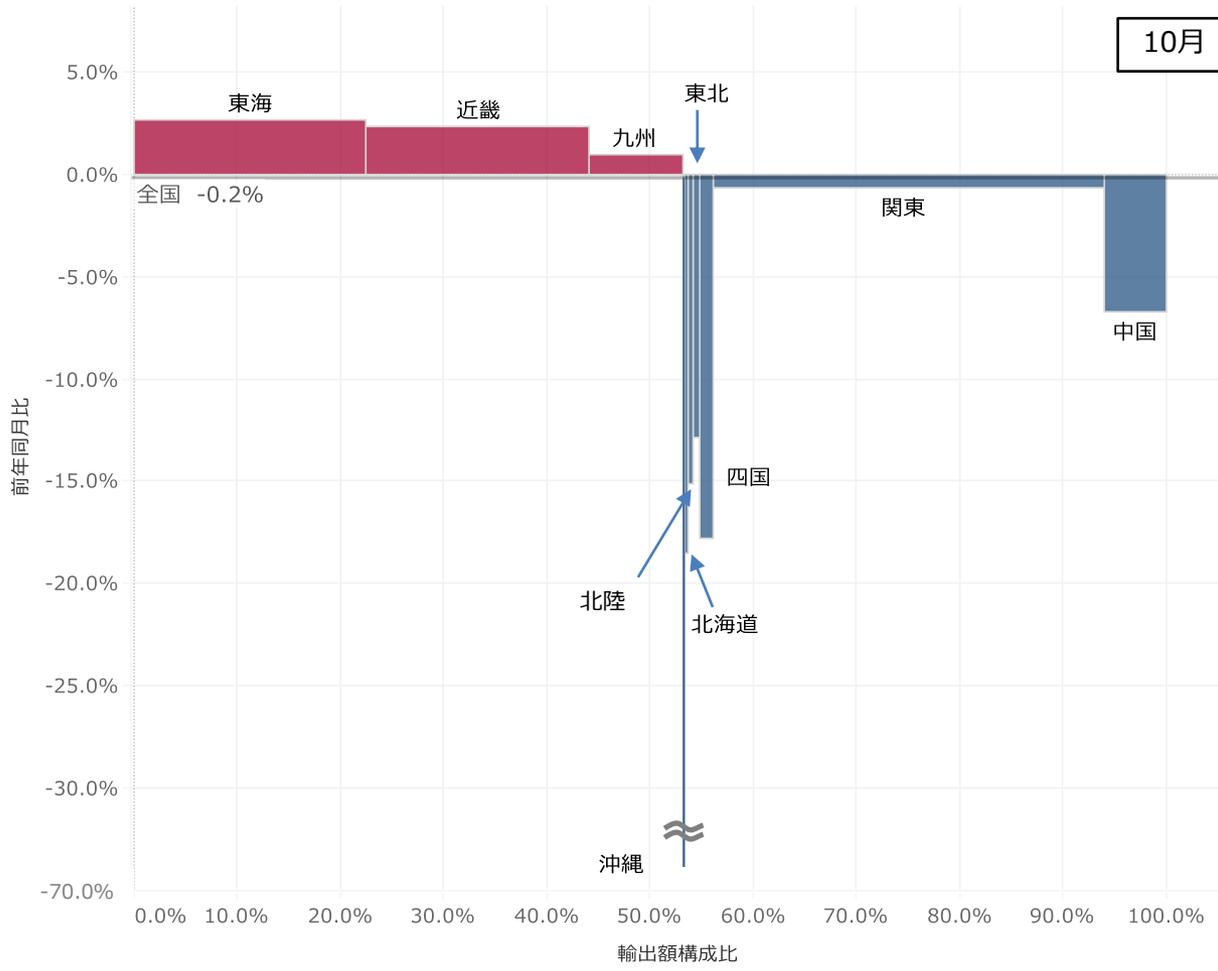
左図：直近3ヶ月の状況。前月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。

右図：10月の数値を棒グラフで表示。前月差の大きい順。

# 輸出額（前年同月比）

● 3地域（輸出額構成比53.3%）で増加、7地域（同46.7%）で減少。

地域	8月	9月	10月
全国	↓ -14.8%	↓ -4.9%	↓ -0.2%
北海道	↓ -28.9%	↓ -22.1%	↓ -18.5%
東北	↑ 8.0%	↓ -0.6%	↓ -12.8%
関東	↓ -14.5%	↓ -3.6%	↓ -0.6%
東海	↓ -18.8%	↓ -2.9%	↑ 2.7%
北陸	↓ -24.2%	↓ -30.5%	↓ -15.1%
近畿	↓ -8.7%	↓ -5.7%	↑ 2.3%
中国	↓ -22.1%	↓ -6.9%	↓ -6.7%
四国	↓ -27.3%	↓ -48.4%	↓ -17.8%
九州	↓ -14.9%	↓ -2.8%	↑ 1.0%
沖縄	↑ 119.6%	↑ 8.2%	↓ -67.1%



資料：財務省「貿易統計」 地域ごとの輸出額は、各税関の貿易統計より、各地域に属する港の輸出額を合計して算出。

全国及びすべての地域（8～10月）は確報値。

左図：直近3ヶ月の状況。前年同月と比較し、指標が増加している場合は赤色、変化なしの場合は黄色、減少している場合は青色で表示。

右図：10月の数値をスカイラインチャートで表示。伸び率寄与順。

表紙に記載した経済産業局の管轄区域と異なる地域区分を採用し、福井県を北陸地域のみ計上。

各地域の輸出額構成比は以下のとおり。

北海道：0.3% 東北：0.7% 関東：37.8% 東海：22.4% 北陸：0.5% 近畿：21.8% 中国：6.0% 四国：1.3% 九州：9.1% 沖縄：0.04%